

大阪府原子炉問題審議会
平成23年8月10日
京都大学原子炉実験所

京都大学原子炉実験所の安全性等について

このたびの福島第一原子力発電所で発生した原子力災害を踏まえ、京都大学原子炉実験所の研究用原子炉（KUR）の安全性等について、次のとおり対応しております。

1. 電源機能等喪失時における炉心等の健全性について

文部科学省から「平成23年福島第一・第二原子力発電所事故を踏まえた電源機能等喪失時における炉心等の健全性評価」について実施の指示があり、非常電源を含む全電源機能が喪失した場合のKUR炉心における燃料の健全性等を評価した結果、健全性は維持されることを確認しました。

2. 機器及び設備の点検並びに今後の安全強化について

大阪府知事及び熊取町長、泉佐野市長、貝塚市長からの「原子力事業所に対する申し入れ」を受け、次のとおり対応しました。

- ①地震等による緊急時対応のための機器及び設備、緊急時の電源確保、情報伝達体制、緊急事態応急対策等について点検を行った結果、特に問題がないことを確認しました。
- ②今後の安全強化の対応として、安全性及び信頼性の維持・向上に努めるとともに、新たな安全対策の必要性が判明した場合は速やかに対策を講じることとしています。また、今回の原子力災害を踏まえては、全電源喪失時の対策を強化するため、炉心タンクからの漏水に備えて耐震防火水槽及び可搬式の消防ポンプを設置するとともに、炉心の状況を把握するための計装設備用の電源として可搬式発電機を整備することとしています。